

【生薬名】 白朮 *ATRACTYLODIS RHIZOMA*

【起源植物】 オケラ *Atractylodes japonica*

オオバナオケラ *A. macrocephala*



【科名】 キク科 *Compositae*

【別名】 ウケラ(朮、宇気良、宇家良)、ウケラバナ(朮花)、ヲケラ(朮)、ワレモカウ(我木香)、ウケラガハナ(朮花、宇家良我波奈)

【薬用部分】 根茎

【主成分】 精油アトラクチロン

【薬性】 気味は辛苦温、気味は甘微苦温、帰経は脾胃に属す

【効能】 ●補脾益気・燥湿利水

●体内の水分代謝異常に用い水毒を除く

●胃腸の弱い人の胃腸を整え、それに伴う各種の症状に応用する  
消化管や皮下組織中にある水分を小便として排出する

●健胃・鎮静・利尿・整腸に1日10gを煎じて服用する

●胃腸の水滞を除く作用がある、補益の作用がある

●健胃、整腸、胃下垂、尿減少

●オケラ、オオバナオケラは同様に白朮として使われる

【出典】 ●治風寒濕痺死肌。痲。疸。止汗除熱。消食。作煎餌。久服輕身  
延年不飢。(神農本草經上品、朮と記載)

●白朮 甘温、脾を健かにし、胃を強め、瀉を止め、湿を除き、  
兼ねて痰を殴つ。(薬性歌)

●主治水也。故能治小便自利不利。旁治身煩疼。痰飲。失精。眩  
冒。下利。喜唾。(薬徴)

【備考】 ●若芽を茹でて和え物として食べたり、若い葉を山菜料理として  
ゴマ和えなどにする

【処方例】 ●苓桂朮甘湯、半夏白朮天麻湯、真武湯、六君子湯、補中益気湯、  
十全大補湯